

第 15 回 京都医療センター 1 型糖尿病セミナー

CGM の過去・現在・未来

日本国内でも持続血糖測定器(CGM)は急速に普及しつつありますが、それに伴いさまざまな課題が明らかになってきています。海外では指先から採血して測定する血糖自己測定(SMBG)の代替として単体使用可能な CGM も発売されていますが、日本国内ではあくまで SMBG の補助という位置付けにとどまっています。今回の京都医療センター1型糖尿病セミナーでは、CGM の課題を整理する同時に、将来的に CGM が SMBG の代替として単体使用できるための条件につき、開かれた議論を行いたいと思っております。対象は、1型糖尿病患者の診療に関心がある医師(内科・小児科など)、コメディカル(看護師・管理栄養士・薬剤師・助産師・臨床検査技師など)です。みなさまのご参加をお待ちしております。

主催：(独)国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター

日時：2019年3月10日(日) 10:30-14:00 (10:15 開場)

場所：(独)国立病院機構 京都医療センター

新中央診療棟 4 階 多目的ホールにて

地図：当院 HP (<http://www.hosp.go.jp/~kyotolan/>) をご参照ください。

定員：70名(先着順)

参加費：無料

申込方法：氏名(ふりがな)・所属・職種・郵便物送付先住所・電話番号を記載の上、下記宛先まで電子メールにてお申し込みください(電話・FAXによる申し込みは受け付けておりません)。定員になり次第、申し込みを終了させていただきます。

連絡先：kmct1dm-project@umin.org (糖尿病センター 村田)

プログラム（敬称略）

10:30-10:40 「はじめに」 (独)国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター 医師 村田 敬
10:40-11:20 「CGM 各機種 of 最新情報」 (独)国立病院機構大阪医療センター 糖尿病内科 医師 加藤 研
11:20-12:00 「透析患者における CGM の現状と問題点」 東海大学医学部 腎内分泌代謝内科学 准教授 豊田 雅夫
12:00-13:00 休憩
13:00-14:00 ディスカッション 「CGM 単体使用の条件とは？」 座長： (独)国立病院機構京都医療センター 糖尿病センター 医師 村田 敬 論者： 1. (独)国立病院機構大阪医療センター 糖尿病内科 医師 加藤 研 2. 東海大学医学部 腎内分泌代謝内科学 准教授 豊田 雅夫 3. 神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 助教 廣田 勇士 4. 徳島大学先端酵素学研究所糖尿病・臨床研究開発センター 准教授 黒田 暁生 5. 岡山済生会総合病院 内科 主任医長 利根 淳仁 (順不同)

※駐車場のサービスはしておりませんので、公共交通機関にてご来場ください。

※昼食は各自ご用意ください。なお院内に食堂、カフェ、コンビニがございます。